

## 編集後記

この秋は本研究所にとっては多事多端な秋であった。しかし、九州大学教育学部との協力のもとに迎えたロンドン大学教育学部のロアリス教授の連続講義や同教授をかこんでの研究会、トインビー教授を迎えての討議等は、私共の研究と思考に豊かな刺激と示唆とをもたらしてくれた。教育大学院の申請は本研究所にとっては大きな重責であり、書類の準備などのために日高所長をはじめ、ある所員には研究活動以外の重荷がかかった。しかし、研究活動にせよ、その他の活動にせよ、所員が心を一にして、美しい協力をもって働けることと、夫々に学問・思想の自由をさまたげられることなしに自由に研究の出来ることが、発足してまだ四年にしかならないうささやかな本研究所の特色である。私共はこの貴重な特色を大切に培いつつ、その畑で私共の研究を育ててゆき度いと希っている。

以上のような活発な活動にもかかわらず、と云うか、或はその故に、今回は予定の論文で間に合わないのが一、二あつ

た。収録したのも、本研究所の性格を表現するものとして、いわゆる出来上った研究ではなくて、常に成長を求めて動きゆく私共の研究の未完成な報告である。大方のあたたかく、きびしい御批判と御助言を希って、敢て発表するものである。

尚、本誌のためにロアリス教授の論文をいただけたことは編集委員一同感謝である。(秋田、長、小島、関屋)

### 「ICU教育研究」 第三号

昭和三十一年十二月二十日 印刷

昭和三十一年十二月二十五日 発行

編集兼  
発行者

国際基督教大学教育研究所

三鷹市大沢一五〇〇

電話武蔵野(三九八)三七九二番

代表者 日 高 第 四 郎

印刷者 東亜印刷株式会社  
東京都豊島区高田南町三ノ七五五